

2025年度 第2四半期決算説明会

2025年11月26日

【証券コード 4401】



2025年度 決算説明

第2四半期

2025年4月1日～2025年9月30日

代表取締役社長兼社長執行役員
城詰 秀尊

1. 2025年度 第2四半期連結業績	・・・ P 3
2. 2025年度 連結業績予想	・・・ P13
3. ご参考	・・・ P26

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

1. 2025年度 第2四半期連結業績

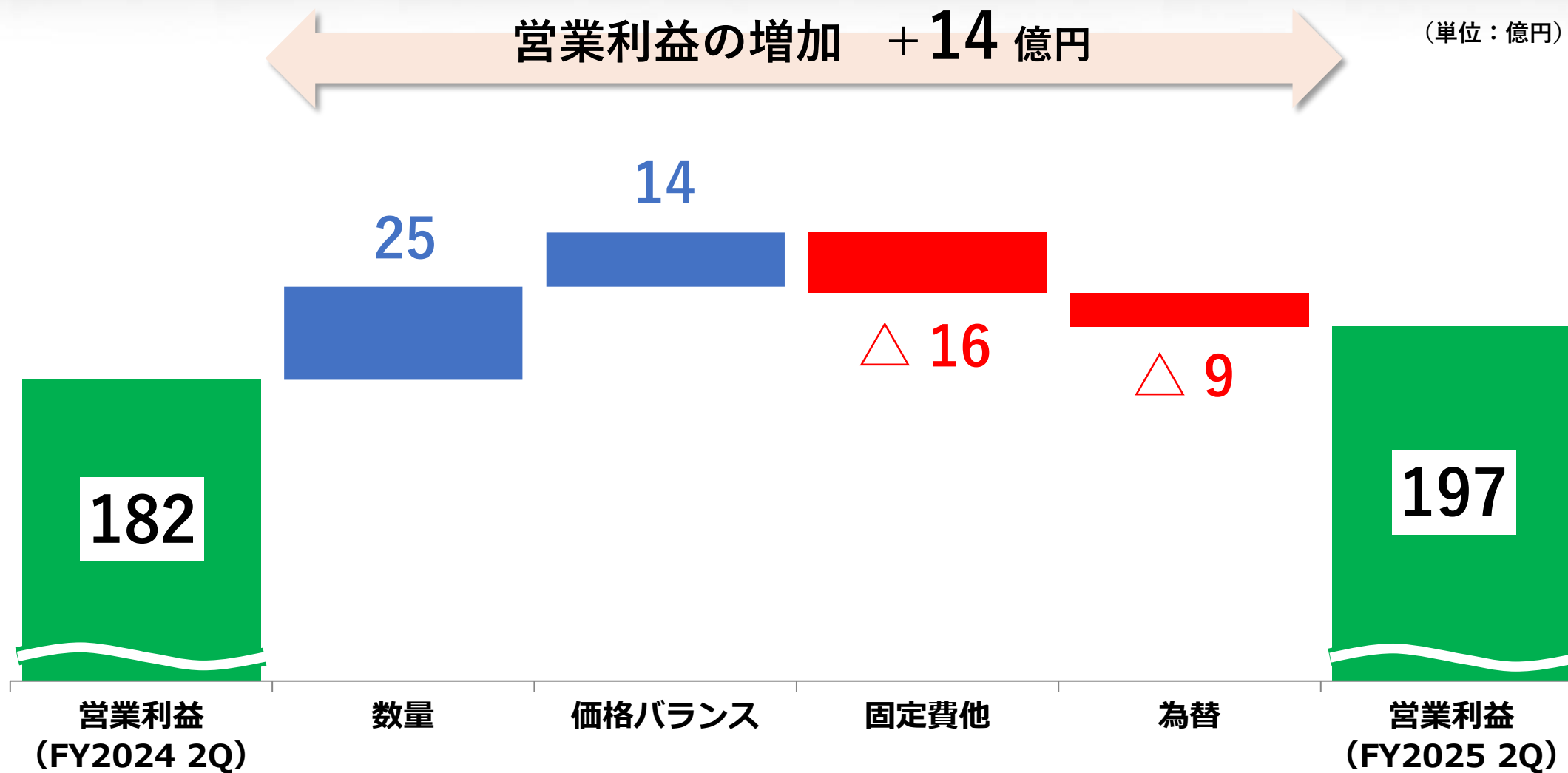
2025年度 第2四半期連結業績の概要

2025年度 第2四半期連結業績

(単位：億円)

	FY2024 2Q	FY2025 2Q	増減	増減率 (%)
売上高	1,950	1,957	6	0.3
営業利益	182	197	14	8.0
経常利益	168	199	31	18.6
中間純利益	114	124	9	8.1
1株利益	112.5円	122.4円	9.8円	

注) 金額は億円未満を切捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2025年度 第2四半期連結業績（セグメント別）

2025年度 第2四半期連結業績

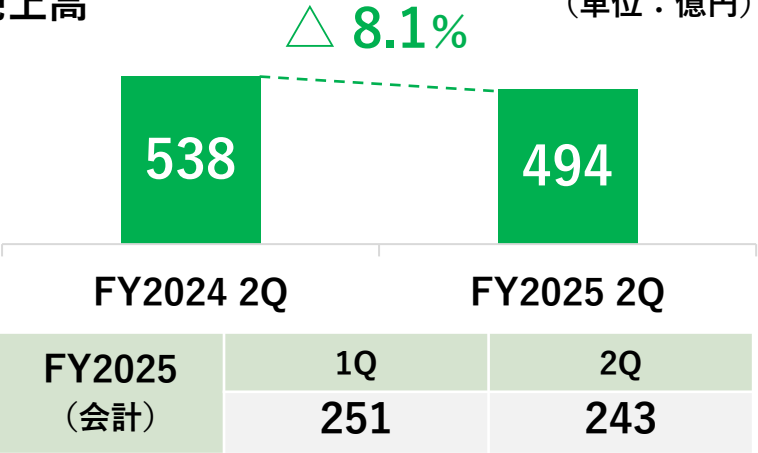
(単位：億円)	FY2024 2 Q	FY2025 2 Q	増減	増減率 (%)
売上高	1,950	1,957	6	0.3
化学品	1,116	1,048	△ 67	△ 6.1
樹脂添加剤	538	494	△ 43	△ 8.1
半導体材料	175	157	△ 18	△ 10.3
環境材料	402	396	△ 5	△ 1.4
食品	410	406	△ 3	△ 0.9
ライフサイエンス	391	477	85	21.9
その他	32	24	△ 8	△ 24.8
営業利益	182	197	14	8.0
化学品	150	130	△ 19	△ 13.2
樹脂添加剤	56	50	△ 6	△ 11.2
半導体材料	47	33	△ 13	△ 28.6
環境材料	45	46	0	0.4
食品	22	20	△ 1	△ 8.2
ライフサイエンス	6	41	35	560.2
その他	3	4	0	25.1

注1) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

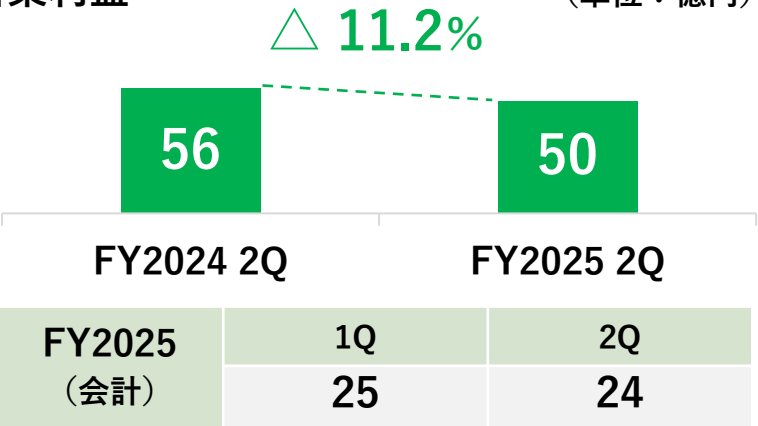
注2) 半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高 (単位：億円)



◆ 営業利益 (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

売上高の主な要因（対前年同期）

市況低迷

◆ 家電製品、E V

低調 難燃剤

◆ プラスチック関連

低調 酸化防止剤

◆ 建築・インフラ（電線、住宅内装材）

堅調 塩ビ用安定剤

北米

産業機械向け 自動車向け
可塑剤・塩ビ用安定剤は、国内中心に価格改定が進捗

営業利益の主な要因（対前年同期）

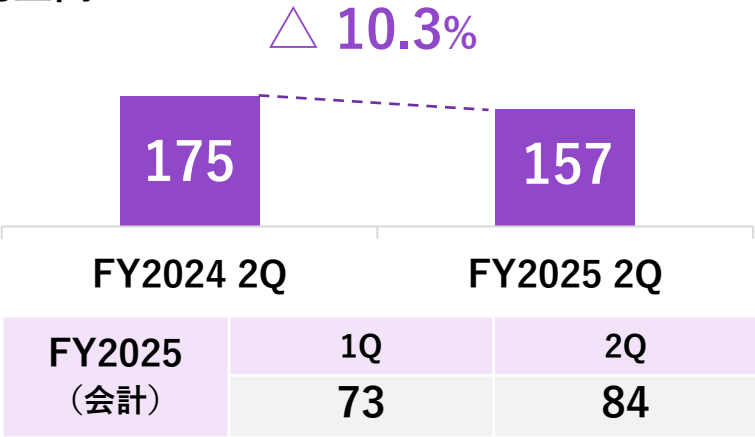
数量
△ 7 億円

為替
△ 1 億円

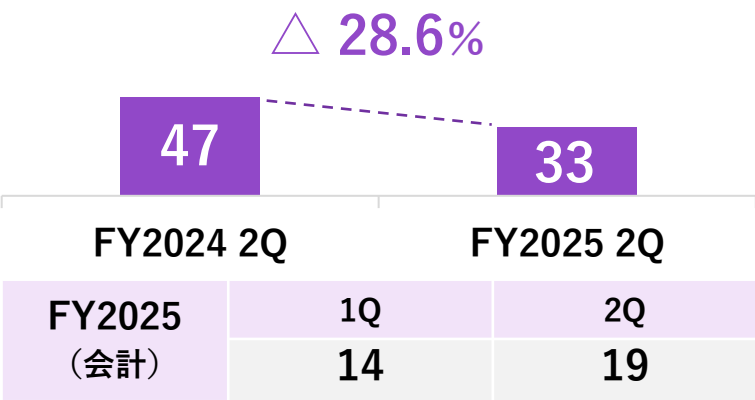
固定費他
3 億円

化学品事業（半導体材料）

◆ 売上高 (単位：億円)



◆ 営業利益 (単位：億円)



注 1) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 先端DRAM

メモリの世代交代に向けた一時的な生産調整

低調

高誘電材料

Topic

「新製品」の量産開始

◆ 先端フォトレジスト

データセンター投資や生成AI搭載デバイスの拡大

好調

半導体リソグラフィ材料

◆ 先端ロジック

低調

ALD材料

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス

△ 9 億円

固定費他

△ 5 億円

為替

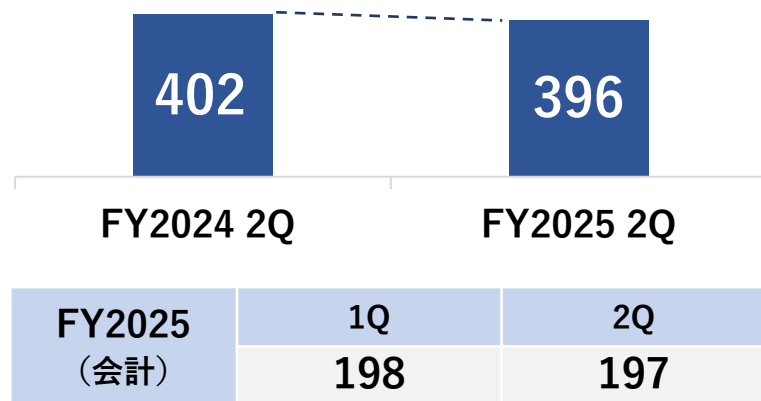
△ 2 億円

数量

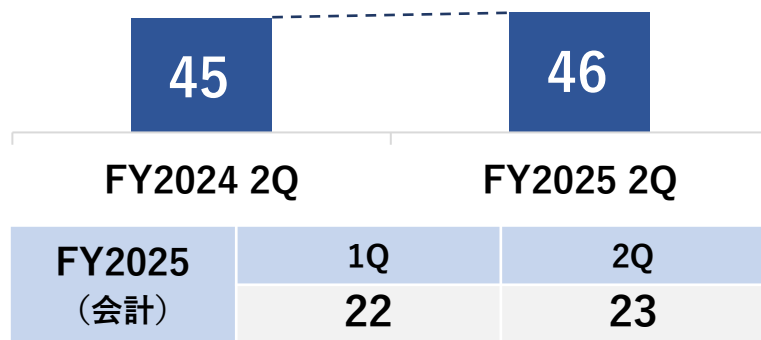
3 億円

注 2) FY2024 2Qは、製品区分組み替え後の実績値を記載

◆ 売上高 △ 1.4% （単位：億円）



◆ 営業利益 0.4% （単位：億円）



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ モビリティ

アジア・米国で省燃費ニーズ拡大

好 調 エンジンオイル用 潤滑油添加剤

中国経済の減速による市況低迷

◆ エレクトロニクス（ディスプレイ）

低 調 光硬化樹脂

◆ 建築・インフラ（塗料）

低 調 反応性乳化剤

◆ エレクトロニクス（電子部品）

好 調 特殊エポキシ樹脂

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
2 億円

製造原価他
1億円

為 替
△ 3 億円

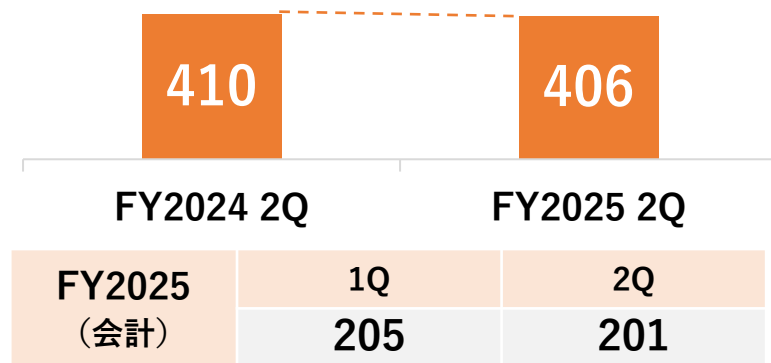
注 1）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注 2）FY2024 2Qは、製品区分組み替え後の実績値を記載

◆ 売上高

(単位：億円)

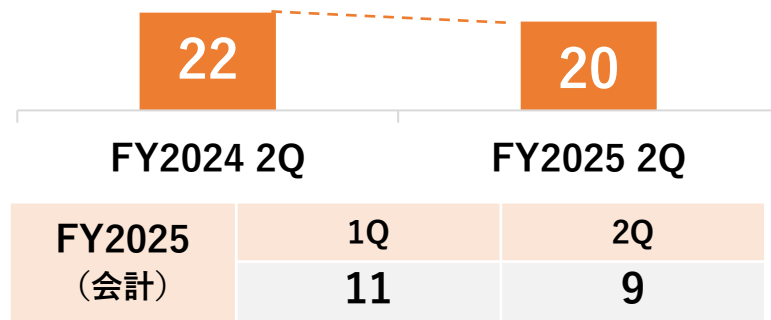
△ 0.9%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 8.2%



売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 製パン・製菓

中国で低価格志向が継続

低調 ショートニング、マーガリン類

◆ カフェ、製パンなど

国内のカフェメニューでの採用が継続・拡大

堅調 プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ

◆ その他

2025年4月 連結子会社「上原食品工業(株)」を売却

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量

△ 4 億円

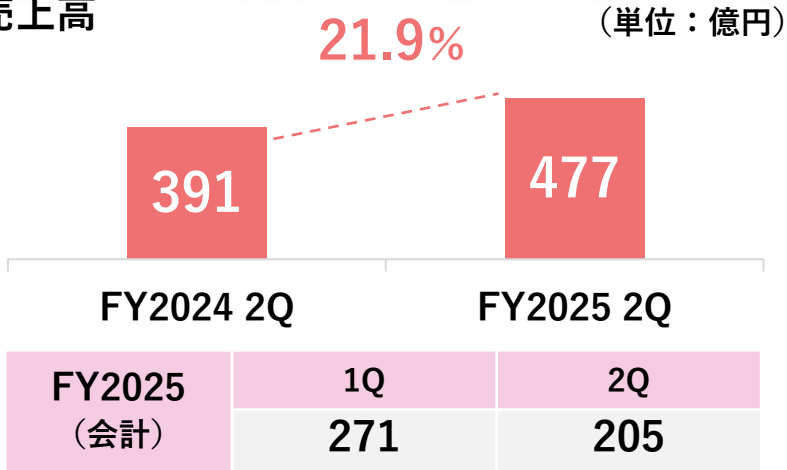
価格バランス

3 億円

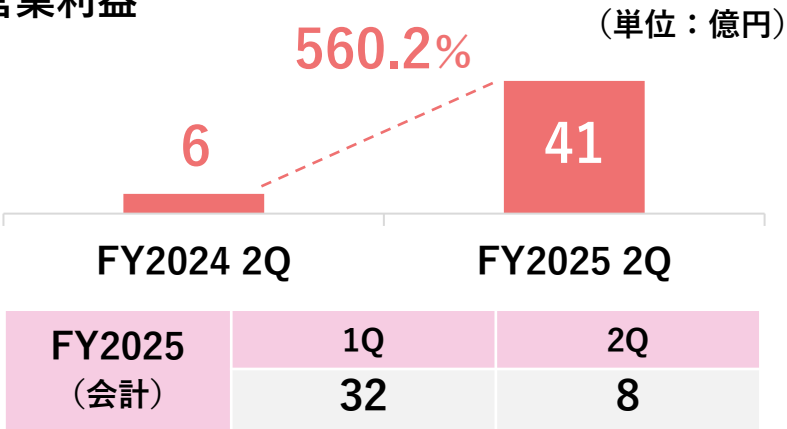
注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高



◆ 営業利益



注）金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

売上高の主な要因（対前年同期）

◆ 農薬

日本

米価格の高騰⇒水稻作付面積が増加

好 調

除草剤、殺虫剤等（水稻）

北 米

米国の関税影響⇒第1四半期に販社への荷動き活発化

好 調

除草剤（麦・菜種等）

好 調

殺ダニ剤（果樹）

欧州

好 調

殺虫剤の原体
除草剤（果樹・ばれいしょ）

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
32億円

価格バランス
21億円

固定費他
△ 16億円

為 替
△ 2 億円

ライフサイエンス事業（営業利益）

営業利益

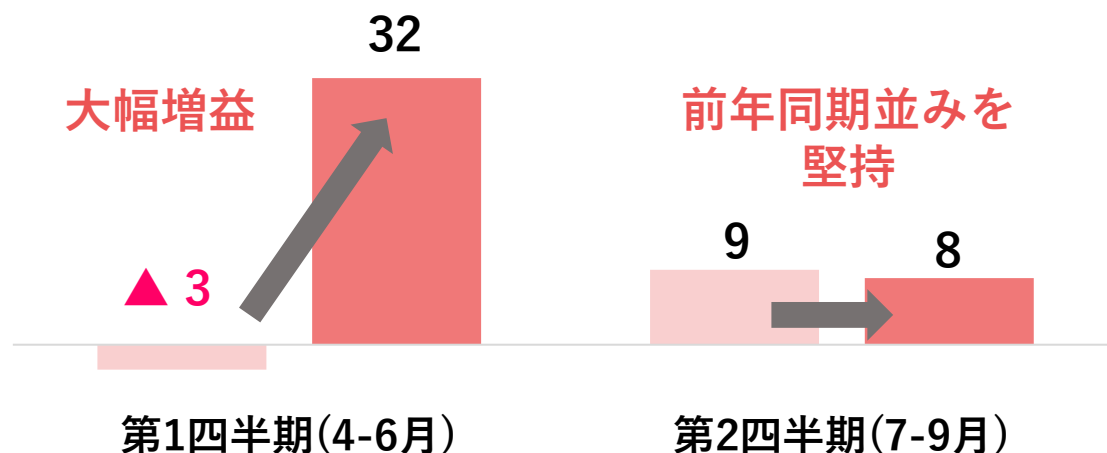
対前年同期 + 35億円

対予想 + 14億円

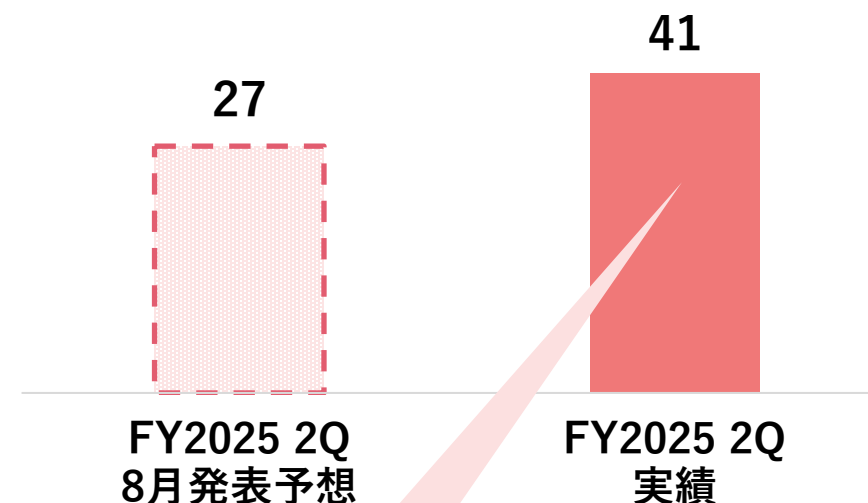
会計期間（前年同期比較）

FY2024

FY2025



2Q累計期間（8月発表予想との差異）



営業利益が予想を上振れた理由

- ・ 利益率の高い北米を中心に、海外での農薬販売が好調
- ・ 売上原価、固定費の減少（研究開発費などの一部後ずれ）








注）金額は億円未満を切捨てて表示

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2. 2025年度 連結業績予想

世界経済

通商政策の動向、地政学リスクの長期化、金融資本市場の変動などにより不安定な状態が続く見通し

セグメント	化学品				食 品		ライフサイエンス
マーケット	自動車	建築 インフラ	半導体	ディスプレイ	量販店 コンビニ	観光・外食	農 業
下期見通し							
	生産台数は底堅く推移	住宅市場低迷	生成AIが成長牽引	TV用で大型化が続く	消費者の節約志向続く	インバウンド好調継続	作付面積は拡大基調

(単位：億円)	FY2025 予想				FY2024	増減	増減率 (%)
	1 Q	上期	下期	通期			
売上高	1,016	1,957	2,452	4,410	4,071	338	8.3
営業利益	109	197	232	430	410	19	4.9
経常利益	110	199	230	430	393	36	9.3
当期利益	72	124	139	264	250	13	5.5
1 株利益	71.2円	122.4円	140.6円	263.0円	245.6円	17.4円	

		FY2025 下期の前提	FY2024 実績
為替	円/\$	150.00	152.62
	円/€	157.00	163.82
ナフサ	円/KL	66,000	73,659

為替感応度 (年度)	営業利益に対する 1円・円高影響
△ 0.9億円	
△ 0.4億円	

注1) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2025予想の1株利益は、2025年9月末時点の発行済株式数（自己株式を除く）を用いて算出

2025年度 連結業績予想（セグメント別）

2025年度 連結業績予想

(単位：億円)	上期実績	下期予想	FY2025 予想	FY2024	増減	増減率 (%)
売上高	1,957	2,452	4,410	4,071	338	8.3
化学品	1,048	1,346	2,395	2,184	210	9.6
樹脂添加剤	494	659	1,154	1,054	99	9.4
半導体材料	157	215	373	340	32	9.6
環境材料	396	471	868	789	78	9.9
食品	406	446	853	825	27	3.3
ライフサイエンス	477	615	1,093	999	93	9.4
その他	24	44	69	62	6	10.9
営業利益	197	232	430	410	19	4.9
化学品	130	169	300	280	19	7.0
樹脂添加剤	50	61	112	108	3	2.9
半導体材料	33	52	86	90	△ 4	△ 5.1
環境材料	46	55	102	80	21	26.3
食品	20	23	44	43	0	0.2
ライフサイエンス	41	39	81	77	3	4.2
その他	4	0	5	8	△ 3	△ 39.1

注 1) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

注 2) 半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載

化学品事業（樹脂添加剤）

FY2025下期

高付加価値品へのシフトや空白地域の市場開拓を推進し、販売巻き返しを図る

プラスチック全般

汎用品を中心に熾烈な価格競争が続く

自動車・家電

地域・メーカーごとに濃淡、在庫を含めた需要は底堅く推移

ワンパック顆粒添加剤

競争力のある
「高機能グレード」の販売に注力

難燃剤

価格競争力の強化
家電、EV向けの販売巻き返し

酸化防止剤

アフリカなど、空白地域の市場開拓

新規高性能透明化剤

米国・アジア
「トランスパレックス™」販売本格化

✓ 米国子会社の原料調達コスト増加、「トランスパレックス™」の販売強化

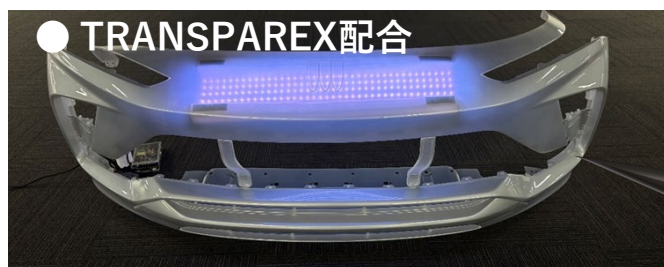
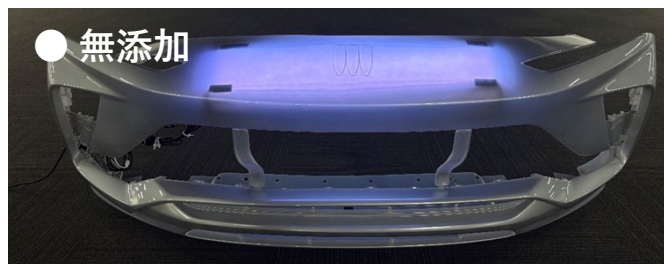
トランスパレックスの販売拡大に向けた施策

マーケティング

"世界最高の透明性+機能性"

世界250社超と
試作や評価が進行中

自動車部材



光が透過し、精細な電光表示が可能に

食品容器



新しい可能性を
お客様と追求

ADEKA

※電光表示イメージ

プロモーション

ギネス世界記録™を活用した販売促進



2025年9月 2025年ギネス世界記録™に認定

「最も透明度の高いポリプロピレン用透明化剤」

化学品事業（半導体材料）

FY2025下期

メモリ向けを中心に先端材料の需要回復と新製品の販売拡大による利益改善を図る

メモリ

新世代メモリの量産が進む

ロジック I C

「N2」プロセスでの量産が開始

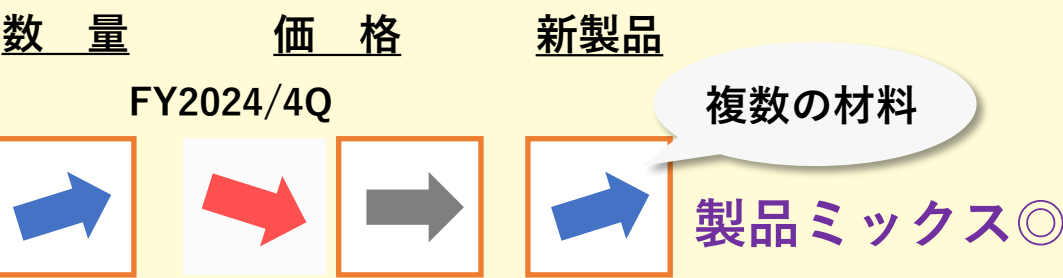
フォトレジスト

EUVによる微細加工が深化

先端半導体メモリ向け 高誘電材料

新製品の量産、次世代開発で微細化をリード

下期見通し



FY2025

N2

A14

A10

オンゲストローム世代へ

先端フォトレジスト向け
光酸発生剤、MOR用金属化合物

キーマテリアルの市場投入、
半導体レジストの技術進化を支える

先端ロジック向け 材料

前工程と後工程、全方位で貢献

ALD材料、ハイブリッドボンディングなど

次世代EUVリソグラフィ向け MOR用金属化合物の新プラント建設を決定

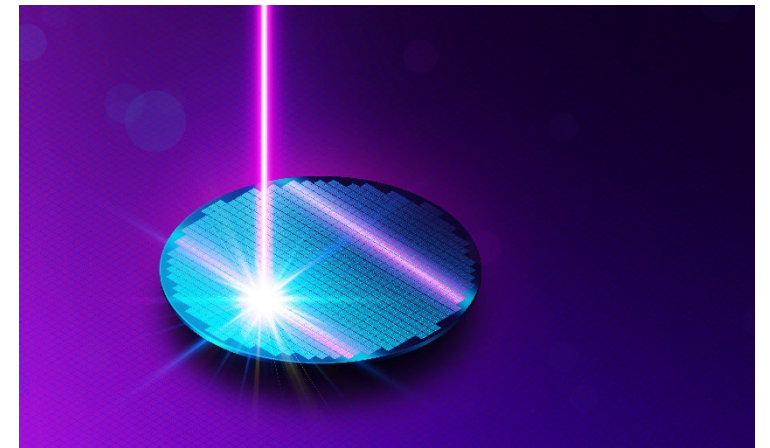
セグメント情報

MOR用金属化合物

半導体リソグラフィの技術革新を確実にするキーマテリアル

次世代EUVリソグラフィによる微細パターンニングに対応

場 所	鹿島化学品工場（茨城県神栖市）
投資金額	32億円
延床面積	1,050m ²
スケジュール	着工：2026年4月、営業運転開始：2028年4月



■ 最先端の半導体リソグラフィ工程



* 高NA (High Numerical Aperture)
：光の利用効率の指標となる開口数

化学品事業（環境材料）

FY2025下期

販売好調な潤滑油添加剤「サクラループ」に加え、
「ディスプレイ」「電子部品」「化粧品」向け材料の販売拡大に取り組む

モビリティ

省燃費オイルの海外需要が拡大・継続

エンジンオイル用潤滑油添加剤
「アデカ サクラループ」シリーズ

ファクトリー
フィル

▶ 中国で販売拡大

アフター
マーケット

▶ アジア・米国で
開発進展

エレクトロ
ニクス

ディスプレイ向け 光硬化樹脂

下期はパネル生産回復
中国／市場開拓 ▶ 販売拡大

電子部品向け 特殊エポキシ樹脂

アジア／半導体などの封止剤

生活産業
GX*

化粧品原料

欧米／天然由来素材

* GX：グリーントランスフォーメーション

FY2025下期

環境貢献製品と高利益体質の両立
フードテックの強みを発揮し、高付加価値品の販売拡大を目指す

製パン・製菓

- ・ 中国経済の停滞、国内は「消費者の節約志向」「最終商品の小容量化」が続く
- ・ パーム油価格の高止まり、カカオなど副原料の高騰

「RISU BRAND」2025年度新製品の販売拡大

プラントベースフード「デリプランツ EG-W」



高付加価値品の販売エリア拡大

- ✓ 海外向け「デリプランツ」シリーズの拡充
- ✓ 「マーベラス」シリーズの販売拡大



各地域の嗜好やニーズに対応し
グローバルに拡大

植物性素材



増粘剤



卵の機能

乳化性・熱凝固性・起泡性

■ スポンジ
ケーキ（例）

卵使用



EG-W使用※



おいしさ

卵を使わず、ふんわりソフトなケーキや
サクサク食感のクッキーを作れる

※起泡剤使用

ライフサイエンス事業（日本農薬）

FY2025下期

欧州で除草剤の販売拡大、
国内水稻向け製品の販売増と果樹向けの品目拡充により増収・増益を目指す

海外

北米等で農業の生産コスト上昇（ジェネリック志向）

日本

水稻栽培面積が増加、気温上昇による虫の多発生

欧州での除草剤の販売拡大

■ 地域別の売上高見通し

（前年比）	下期	通期
北 米	➡	➡
欧 州	➡	➡
中南米	➡	➡
アジア	➡	➡

下期は、
“上期の反動減”
織り込む

インド
再建策推進

日本におけるBASF社「果樹向け農薬」の独占販売権獲得

2025年10月より順次販売開始

<品目拡充> 7 品目

殺菌剤 殺虫剤

果樹向け農薬で
トップシェアを目指す

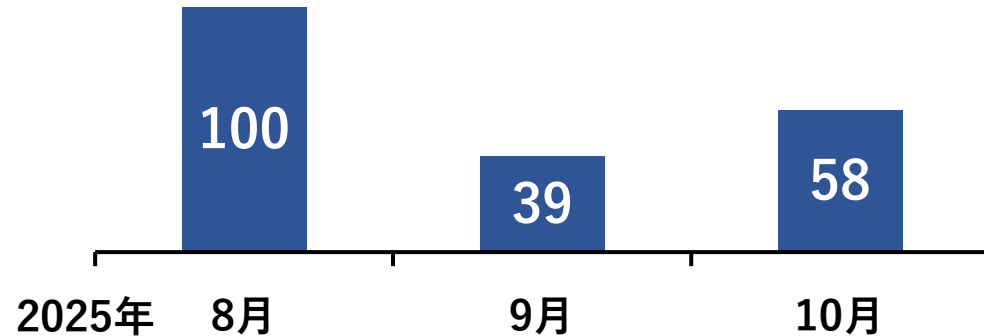


自己株式の取得状況（2025年8月～10月）

取得した株式の総数

198万株（進捗率 20%）

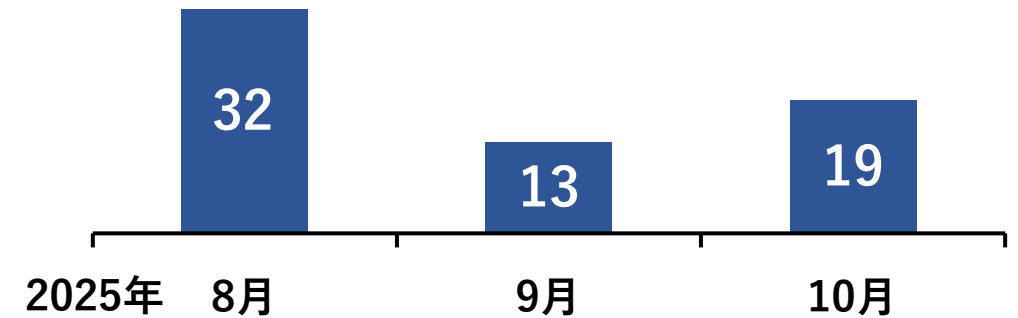
（単位：万株）



取得価格の総額

65億円（進捗率 37%）

（単位：億円）



<ご参考> 2025年8月8日 決議内容

- 取得／消却株式の総数（上限）：1,000万株
- 取得価格の総額（上限）：180億円
- 株式の取得期間：2025年8月12日～2026年5月31日
- 消却：2026年6月上旬（予定）

注1）株式数は1万株未満を切り捨て、金額は億円未満を切り捨てて表示。少数点は小数点第1位を四捨五入。

『A D X 2 0 2 6』

適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

配当性向 **40%** 以上

中間配当で1株につき **52 円** を実施 （前年同期比 + 4 円 増配）

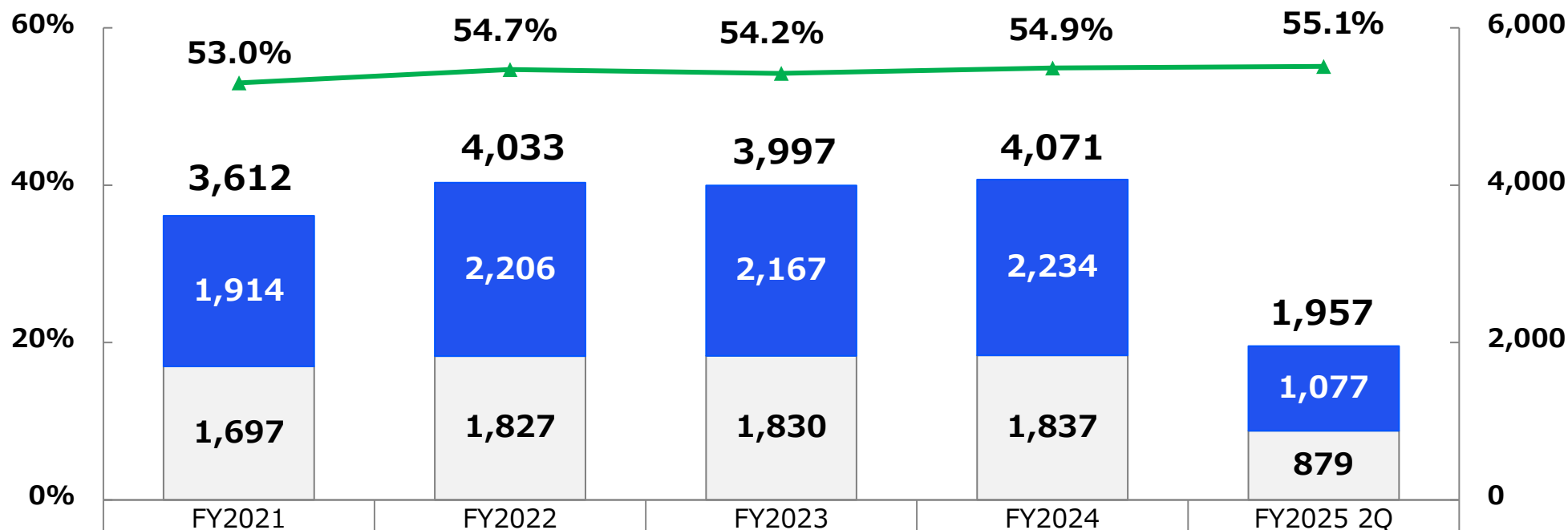
期末配当は1株につき **52 円** を予想 （前年同期比 ± 0 円）

年間配当 **104 円／株**

自己株式取得の結果も考慮し、配当性向40%以上を実現させる

3. ご参考

(単位：億円)



海外売上高	1,914	2,206	2,167	2,234	1,077
国内売上高	1,697	1,827	1,830	1,837	879
海外売上高比率	53.0%	54.7%	54.2%	54.9%	55.1%
売上高	3,612	4,033	3,997	4,071	1,957

注1) 金額は億円未満を切り捨て、海外売上高比率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2021は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

経営目標と2025年度の予想（中計2年目）

		FY2024 実績	FY2025 予想	FY2026 目標
財務指標	営業利益	410億円 (売上高 4,071億円)	430億円 (売上高 4,410億円)	530億円 (売上高 5,000億円)
	R O E	8.6%	8.6%	11.0%
	R O I C	9.1%	—	10.5%
サステナビリティ 指標	環境貢献製品売上高	868億円	—	1,150億円
	G H G 排出量	211千t-CO2e	—	199千t-CO2e
	女性管理職比率	5.8% (単体)	—	6%以上 (単体)
設備投資額		186億円	200億円	750億円 (3カ年)
配当方針（配当性向）		40.7%	40%	40%以上

注）金額は億円未満を切り捨てて表示、比率は小数点第2位を四捨五入して表示

樹脂添加剤

半導体材料

環境材料

● 先端メモリ向け高誘電材料

順次、設備・能力増強を実行

完工 新規材料の製造棟（2024年10月）



台湾

営業運転開始

● 半導体向けA L D材料
（2024年4月）

韓国

米国

営業運転開始

● 添加剤 原料タンク新設（2025年8月）

日本

建設中

● ● 久喜研究所「新研究棟」
（2026年春 完工予定）

投資決定

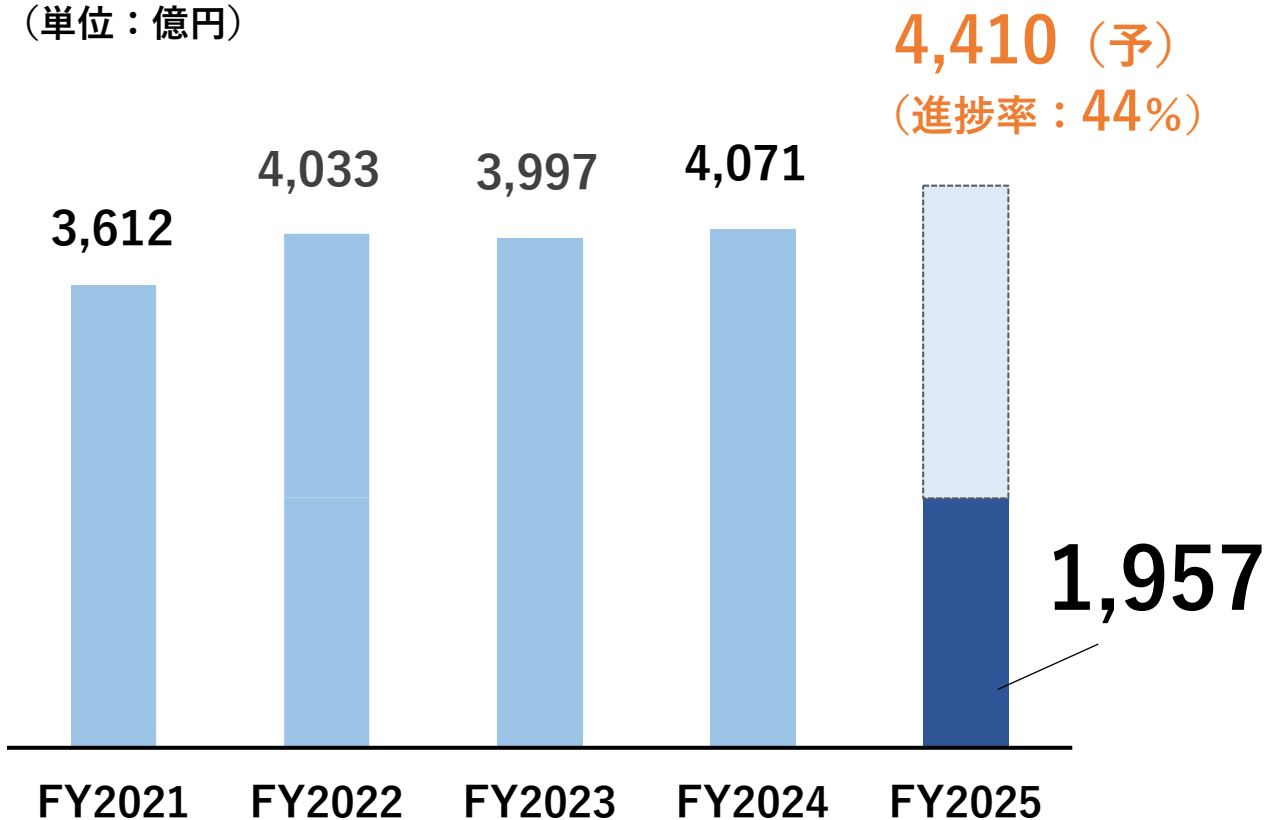
● 鹿島化学品
「次世代EUV露光向けMOR用金属化合物」
（2026年4月 着工予定）

開所／営業運転開始

- 千葉「光酸発生剤 研究分室」
- 富士「半導体向け高純度過酸化水素」
- 三重「車載用電子部品向けエポキシ樹脂接着剤」

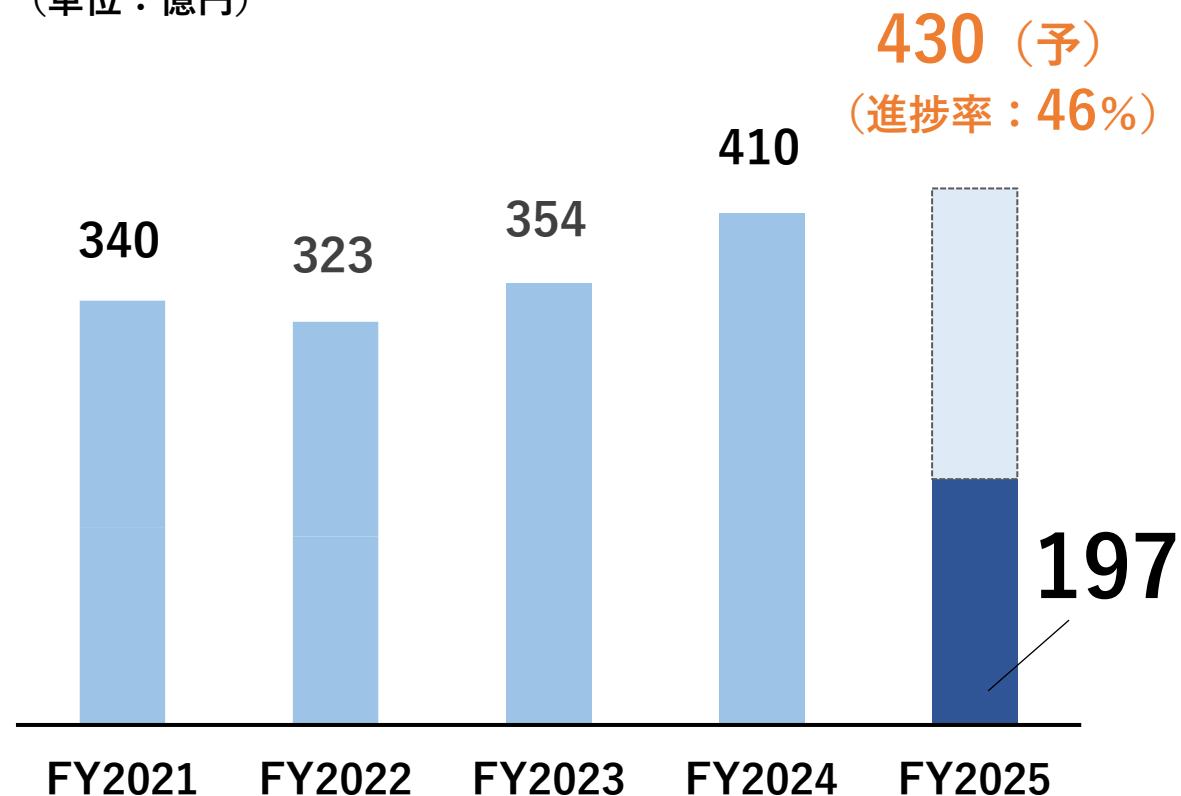
売上高

(単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

会計期間ごとの業績推移（セグメント別）

単位：億円	FY23 Q1	Q2	Q3	Q4	FY24 Q1	Q2	Q3	Q4	FY25 Q1	Q2
売上高	945	930	988	1,132	981	969	1,013	1,107	1,016	941
化学品	497	517	518	507	564	551	558	509	523	525
樹脂添加剤	246	258	249	250	277	260	265	250	251	243
半導体材料	78	80	80	82	86	89	89	75	73	84
環境材料	173	178	188	174	200	201	203	183	198	197
食品	207	206	223	202	209	200	220	194	205	201
ライフサイエンス	221	184	226	397	192	198	222	385	271	205
その他	18	22	19	25	14	17	11	17	15	9
営業利益	74	73	92	113	86	96	117	109	109	87
化学品	55	65	60	56	75	74	77	52	63	67
樹脂添加剤	17	22	19	19	31	25	27	24	25	24
半導体材料	23	24	19	22	21	26	27	15	14	19
環境材料	14	17	20	14	22	23	21	13	22	23
食品	3	9	15	12	13	8	15	6	11	9
ライフサイエンス	11	▲ 4	11	40	▲ 3	9	24	47	32	8
その他	3	3	4	4	1	2	1	2	3	1

注）金額は億円未満を切捨て。半導体材料および環境材料は、製品区分組み替え後の実績値を記載。



Add Goodness



2025年度 第2四半期

決算説明補足資料

取締役兼常務執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1-1 連結貸借対照表

1. 連結決算補足資料

(単位：億円)	25/3末	25/9末	増減		25/3末	25/9末	増減
流動資産	3,498	3,472	△ 26	負債	1,913	1,827	△ 86
現金及び預金	1,101	1,134	33	流動負債	1,222	1,115	△ 106
受取手形及び売掛金等	1,100	919	△ 180	固定負債	690	711	20
棚卸資産	1,133	1,209	76	純資産	3,517	3,596	78
その他	163	208	44	株主資本	2,668	2,695	27
固定資産	1,932	1,951	19	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,258	1,246	△ 12	資本剰余金	203	204	1
無形固定資産	146	155	9	利益剰余金	2,281	2,351	70
投資その他の資産	527	549	22	自己株式	△ 46	△ 90	△ 44
				その他の包括利益累計額	298	356	58
				非支配株主持分	550	544	△ 6
資産合計	5,431	5,423	△ 7	負債・純資産合計	5,431	5,423	△ 7

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

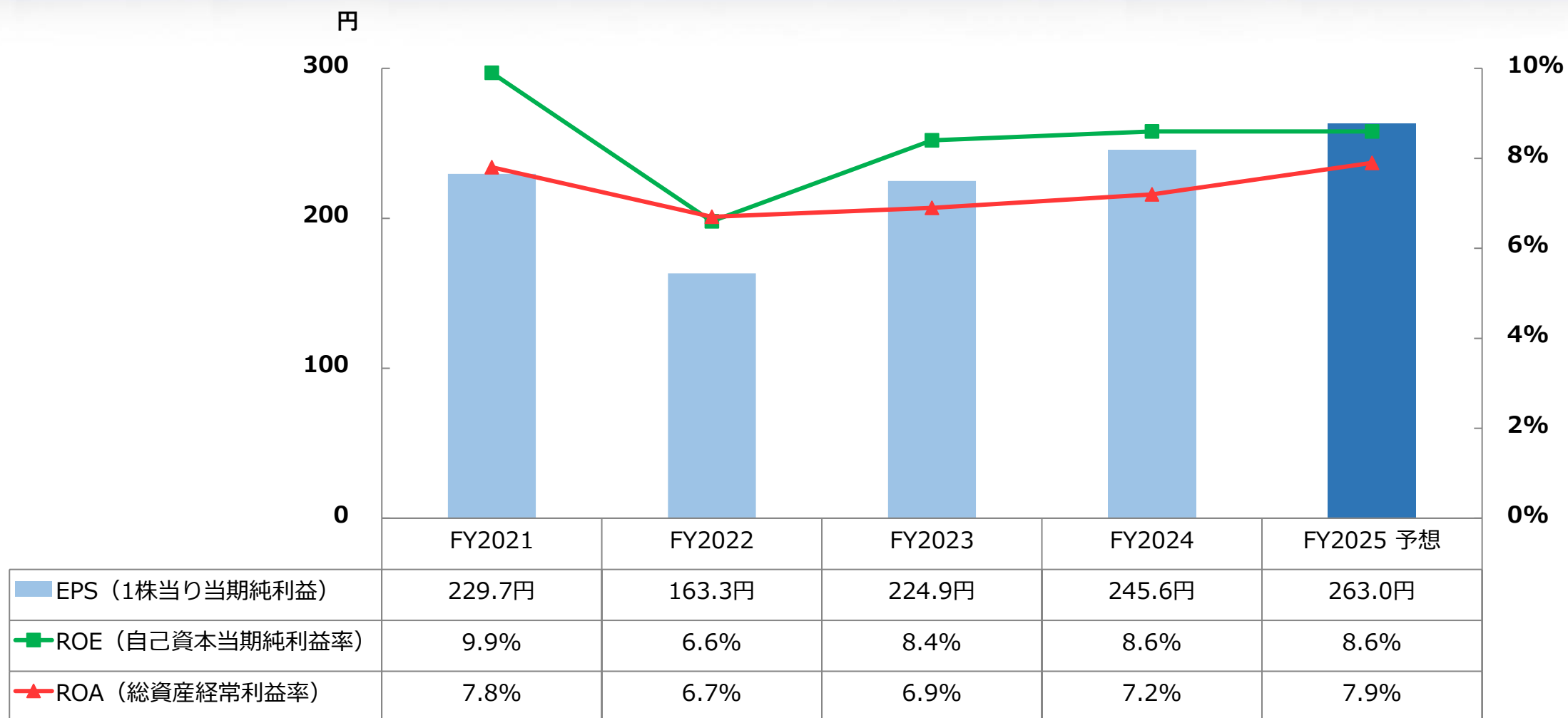
1-2 キャッシュフロー計算書（要約）

1. 連結決算補足資料

（単位：億円）

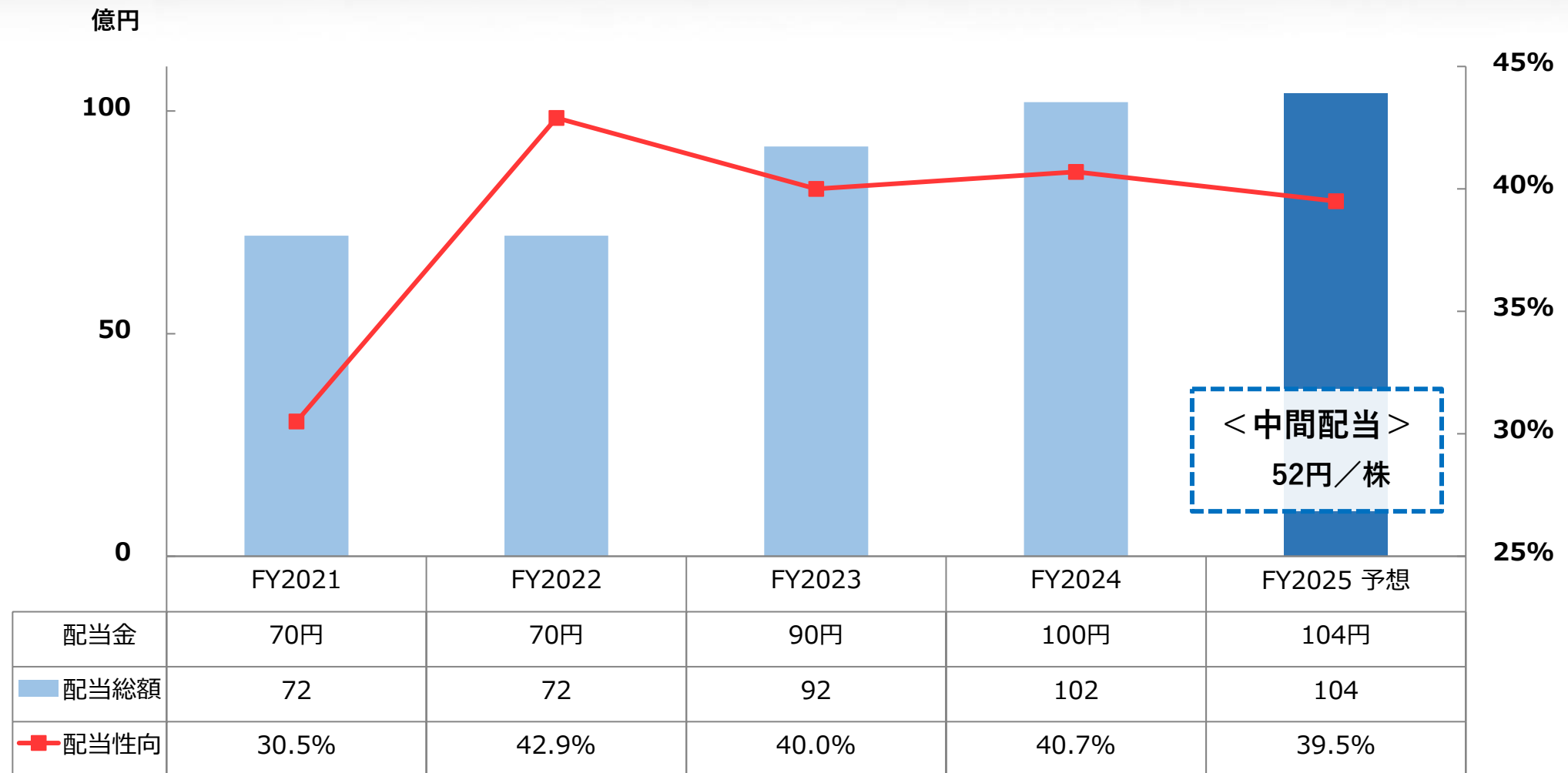
	前中間連結会計期間 (2024/4/1-2024/9/30)	当中間連結会計期間 (2025/4/1-2025/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	330	312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	△ 215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 170	△ 173
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	56	△ 63
現金及び現金同等物の期首残高	969	1,077
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	6
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,025	1,020

注）金額は億円未満を切り捨てて表示



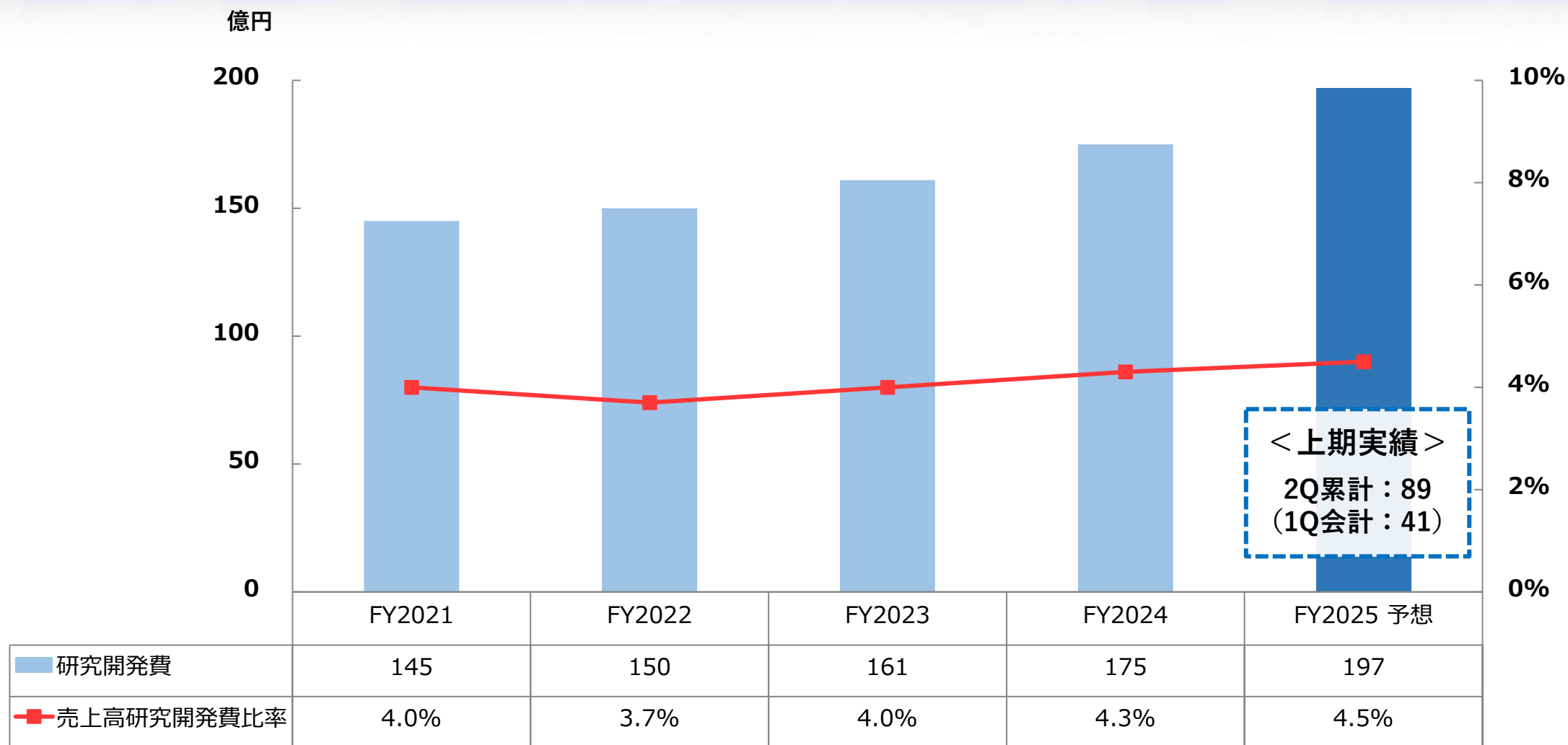
注1) 数値は小数点第2位を四捨五入して表示 注2) FY2021は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載
 注3) FY2025 予想の1株当り当期純利益は、2025年9月末時点の発行済株式数（自己株式を除く）を用いて算出

2-2 配当金、配当性向



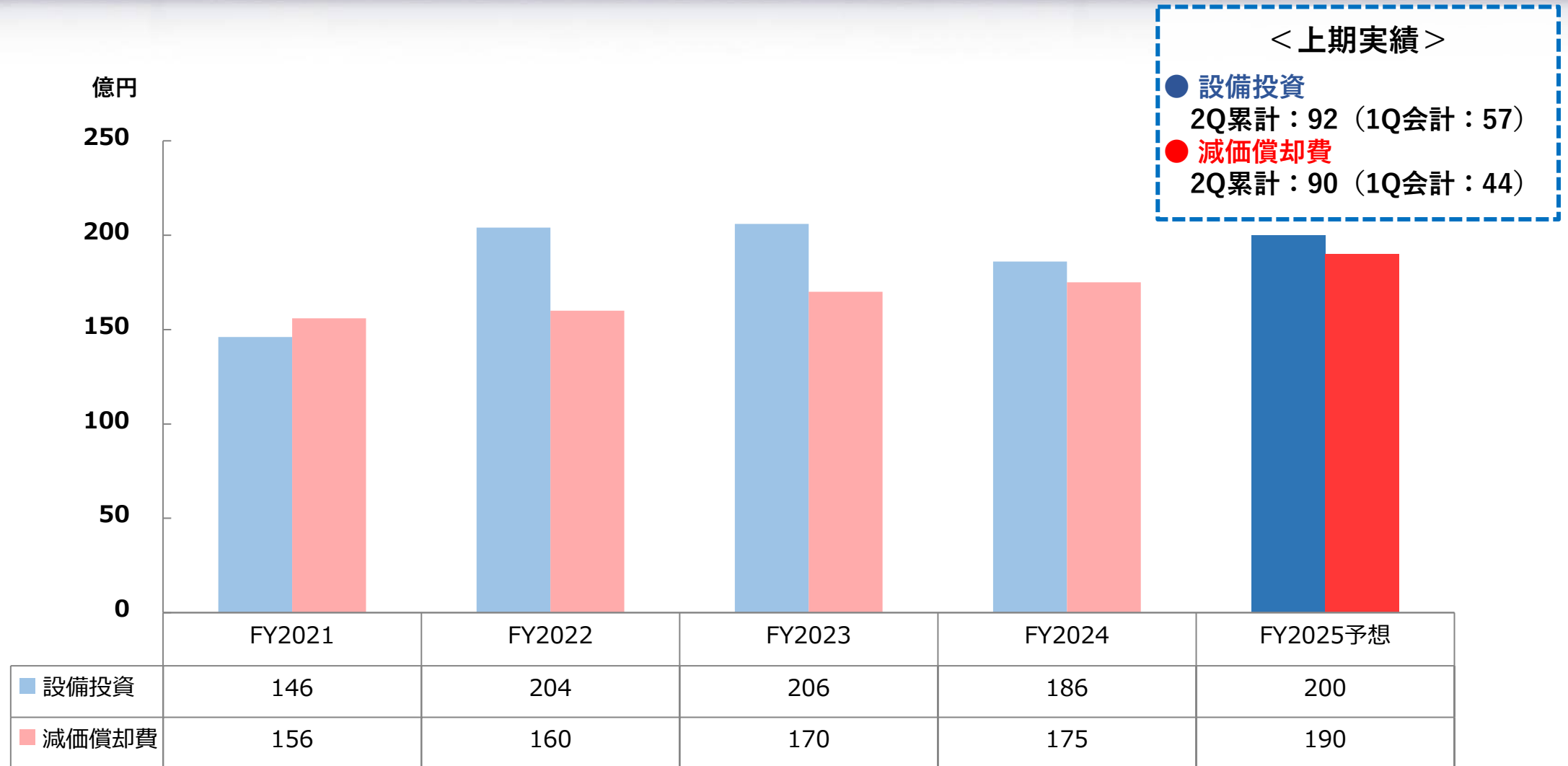
注 1) 配当総額は億円未満を切り捨て、配当性向は小数点第2位を四捨五入して表示
 注 2) FY2021の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2-3 研究開発費



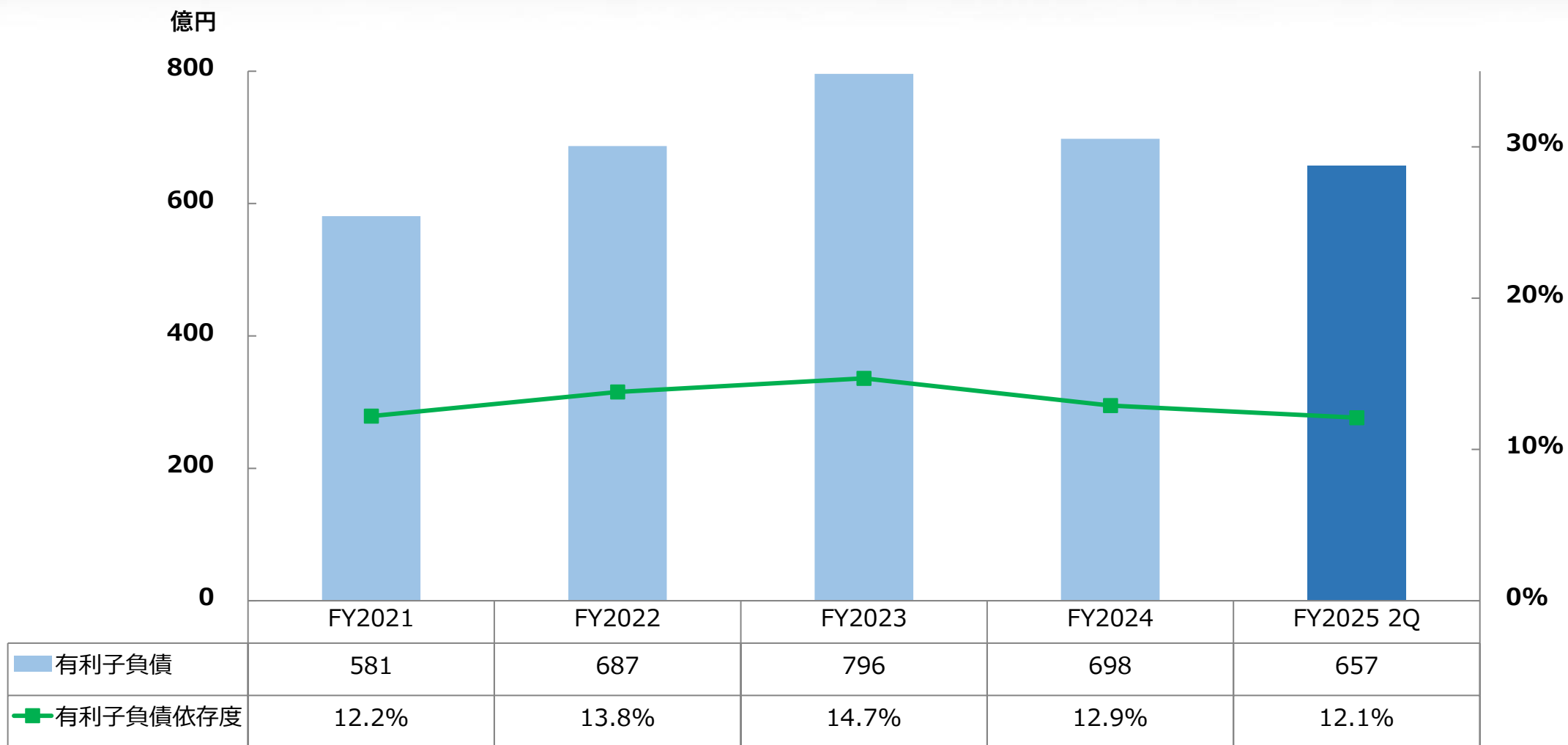
注1) 研究開発費は億円未満を切り捨て、売上高研究開発費率は小数点第2位を四捨五入して表示

注2) FY2021の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注）設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債



注) 有利子負債は億円未満を切り捨て、有利子負債依存度は小数点第2位を四捨五入して表示

3-1 単独・連結子会社の決算概要

■ 単独 ■ 連結

(単位：億円)

単独決算

	2024年度 上期	2025年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	800	800	0	0.0
営業利益	78	74	△ 3	△ 4.5
経常利益	154	171	17	11.3
中間純利益	129	149	19	15.2
1株当たり 純利益	126.5円	146.5円		

国内（除く、日本農薬グループ）

	2024年度 上期	2025年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	474	467	△ 7	△ 1.6
営業利益	12	13	1	8.3

海外（除く、日本農薬グループ）

	2024年度 上期	2025年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	1,016	902	△ 113	△ 11.2
営業利益	86	67	△ 18	△ 21.3

日本農薬グループ

	2024年度 上期	2025年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	391	477	85	21.9
営業利益	10	46	36	355.5

連結調整

	2024年度 上期	2025年度 上期
売上高	△ 732	△ 690
営業利益	△ 4	△ 5

注) 金額は億円未満を切り捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入して表示

3-2 連結子会社概要（国内13社）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	A D E K A ケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	A D E K A クリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	A D E K A 食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	A D E K A ファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬の生産、受注、保管、配送の請負、不動産賃貸及び管理の請負、倉庫業など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験、環境保全に関するコンサルティングなど
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	シロアリ防除資材、防疫用殺虫剤の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	貨物運送取扱事業、産業廃棄物処理仲介業、物流資材販売
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

* 2025年4月1日付で上原食品工業株式会社の全株式を株式会社神戸物産に譲渡しました（2025年度から、同社を連結対象範囲から除外）。

3-3 連結子会社概要（海外27社①）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
アメリカ	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
アメリカ	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
アメリカ	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
アメリカ	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD.	3万£	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	INTERAGRO (UK) LTD.	33,073 £	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの 販売、開発
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
オランダ	ライフサイエンス	NICHINO NETHERLANDS BV	1€	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの 販売、開発
メキシコ	ライフサイエンス	NICHINO MEXICO, S. de R.L. de C.V.	100MXN	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発、登録など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	農薬の生産、普及、販売など
南アフリカ	ライフサイエンス	NICHINO SOUTH AFRICA (PTY) LTD.	0	100.00 (間接所有100.00)	アジュバント・バイオスティミュラントの 開発

3-3 連結子会社概要（海外27社②）

3. ご参考

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品および原材料の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料などの製造、販売
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤などの販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	液晶パネル関連薬剤の製造、販売、化学製品の輸入販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農葯股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の販売、普及、開発など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品の製造、販売

3-3 連結子会社概要（海外27社③）

3. ご参考

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	6億5,800万THB	81.00	樹脂添加剤の製造、販売、輸入販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	100.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地 及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	食用加工油脂、マーガリン、ショート ニング、ファットスプレッドの 製造、販売
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	436万INR	100.00 (間接所有100.00)	農薬の生産、開発、販売など
ベトナム	ライフサイエンス	NICHINO VIETNAM CO.,LTD.	226億8,000万 VND	100.00 (間接所有100.00)	農薬の販売、普及、開発
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	75.00	樹脂添加剤の製造・販売、 化学製品、食品の販売

3-4 持分法適用会社概要

国名	セグメント	持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
日本	化学品	(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
日本	化学品	昭和興産(株)	550百万円	21.43	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電子材料、環境関連の商材などの販売
日本	ライフサイエンス	タマ化学工業(株)	126百万円	33.43 (間接所有33.43)	医薬・農薬中間体及びその他化学品の製造、販売
イタリア	ライフサイエンス	SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有20.00)	農薬の生産、販売
マレーシア	ライフサイエンス	AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	農業資材の製造、販売

* 2025年7月に、IA AGRICULTURE HUNGARY KFTを清算しました。

3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤 ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		半導体材料 高純度半導体材料、半導体リソグラフィ材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、その他
		環境材料 エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、電池材料、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、医療材料、その他
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他

3-6 主な用途と製品例

● 樹脂添加剤 ● 半導体材料 ● 環境材料 ● 食品 ● ライフサイエンス

セグメント	マーケット	主な用途と製品例
化学品	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ● 内外装：核剤、光安定剤 ● ハーネス：塩ビ用安定剤 ● ゴム部材：可塑剤 ● エンジンオイル：潤滑油添加剤 ● 構造用接着剤：エポキシ樹脂 ● 車載用電子部品：エポキシ樹脂接着剤
	建築・インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁紙・サッシ、パイプ、電線：塩ビ用安定剤 ● 塗料：反応性乳化剤、水系樹脂 ● 床材：塩ビ用安定剤、エポキシ樹脂
	半導体	<ul style="list-style-type: none"> ● メモリ・ロジックIC：高誘電材料、半導体リソグラフィ材料、エッチング材料、エポキシ樹脂、過酸化製品
	エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> ● 光学フィルム：光安定剤、光硬化樹脂、水系樹脂 ● 筐体…難燃剤 ● カラーフィルター：光重合開始剤、BMレジスト ● 基板：エッチング材料、エポキシ樹脂、過酸化製品
食品	量販店・コンビニ	<ul style="list-style-type: none"> ● パン・菓子：マーガリン、ショートニング、フィリング ● 洋菓子：ホイップクリーム ● 土産菓子：マーガリン、クリーム
	観光・外食産業	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル・カフェ・レストラン：プラントベースフード
ライフサイエンス	農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 水稻・園芸：殺虫剤、殺菌剤 ● 除草剤

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。